

	シリーズ名	メンタルヘルス対策で企業と連携
	所属・役職・氏名	医学研究科 神経精神医学・教授 井上 幸紀 (INOUE Koki)
<p><要旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ● メンタルヘルス対策と労働生産性向上は両立し相乗効果がある ● 労働者個人に対し、産業現場を理解した精神科医師として面接指導を行う事ができる ● 職業性ストレスを多面的に評価しその軽減のため他の職場のデータと比較して提言を行える ● 嘱託精神科専門産業医を派遣し継続的介入や講演会講師などポイントでの利用も可能 <p><研究シリーズ説明></p> <p>メンタルヘルス不全から自殺などの悲しい事故が生じた場合、安全配慮義務の観点から企業側の責任が問われる。H26年にはストレスチェック等の法案も成立している。しかし、メンタルヘルス不全はその発見や対応が難しく習熟を要し、多くの企業で対策がとられていない。</p> <p>精神科医師の専門分野は物質依存や統合失調症への対応まで多岐にわたる事から、産業精神医学を専門とする医師は全国的にも少数である。大阪市立大学医学部神経精神科には日本医師会認定産業医の資格を持ち、様々なメンタルヘルス指針や手引きを理解し、産業現場で活躍している医師が複数在籍している。</p> <p>我々は要請に応じ、職場における職業性ストレス（役割葛藤、認知的要求、社会的支援、など20項目以上）や個人の精神状態（抑うつ度や疲労度）や性格傾向を測定したり、それらを系統的に解析する事により職場および個人に対し必要な対策をアドバイスしている。また、上司研修や新人研修で聴衆に応じたメンタルヘルス研修も行っている。要請に応じ、企業に精神科専門産業医を派遣する場合もある。病院外来では主治医の立場で診療を行い、検査や入院治療にも対応している。</p> <p>これら事項について、企業及び個人の情報は厳格な管理対応を行っている。</p> <p><アピールポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 精神科専門医で産業医学の特別な研修を受け、産業保健総合支援センター相談員など豊富な業務経験 ● 一部上場企業を中心に多くの医師派遣実績 ● 大学組織に属しており、疫学、環境科学など他の分野との連携が可能 <p><利用・用途・応用分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 精神科専門産業医として関与し、職域のメンタルヘルス対策の確立、過労自殺の防止など企業のリスク管理 ● 健康教育（セルフケアとしての新人研修、ラインケアとしての上司研修、特定業務に対する精神科的対応方法、精神科一般疾病に対する知識の獲得、ほか） ● 職場診断とアドバイス など <p><知的財産権・論文・学会発表など></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度 労働者健康福祉機構研究 精神障害による休職からの職場復帰体制の現実と課題～10年前との比較検討を含めて～（分担研究者） 2. 2013年度 厚生労働省委託事業：ストレス評価に関する調査研究～患者群の検討と考察～（分担研究者） 3. 2010年度 厚生労働省委託事業：精神障害等による労働災害を踏まえた職場環境等の改善によりメンタルヘルス不調の予防を推進するための事業（分担研究者） 4. 2010年度 厚生労働科学研究費補助金：メンタルヘルス不調者の効果的な職場復帰に関する調査研究（分担研究者） 他多数 <p><所属学会例> 日本産業衛生学会（理事）、日本精神神経学会（代議員）、日本産業精神保健学会（常任理事）、日本うつ病学会（評議員）、日本心身医学会（評議員）、日本認知療法学会（幹事）、ほか</p> <p><関連するURL> http://www.med.osaka-cu.ac.jp/neuropsych/</p> <p><他分野に求めるニーズ> なし</p>		
キーワード	メンタルヘルス、精神科専門産業医、職業性ストレス	